



# 厚木基地をめぐる動向と市の取り組み



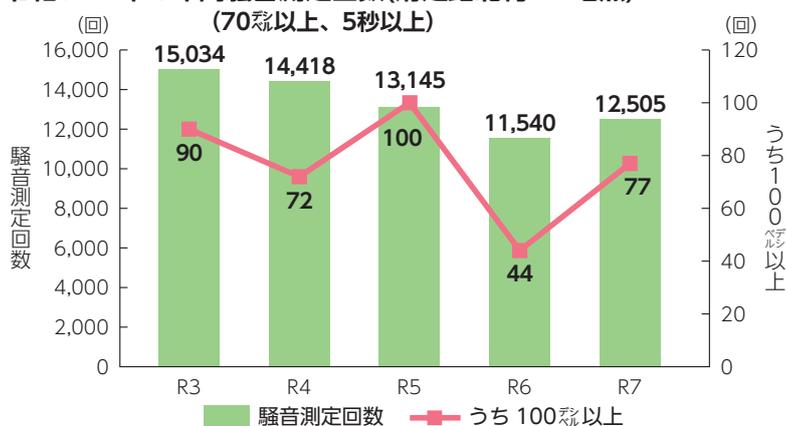
大和市は、県内で2番目に人口密度が高い自治体です。市内に厚木基地が所在することで、航空機の騒音被害や高さ制限による街づくりへの支障など、さまざまな課題があります。

## 航空機騒音の現状

市は、厚木基地に係る航空機騒音の測定を常時実施しています。最近5年間の年間騒音測定回数(滑走路北約1

km地点における70%以上、5秒以上の継続音などは、約1万1,500〜1万5,000回で推移しています。また、厚木基地に飛来する米軍ジェット戦闘機等による100%以上の騒音測定回数も44〜100回となっており、1日平均約36・5回の航空機騒音を観測しており、平成30年の空母艦載機移駐後も、依然として騒音被害が生じています(グラフ参照)。

令和3~7年の年間騒音測定回数(滑走路北約1km地点)



## 市の取り組み

騒音被害のほか、厚木基地が空母艦載機の着陸訓練(FCLP)の予備施設に指定されることや、航空法の建築物等高さ制限による街の発展への支障など、厚木基地をめぐるさまざまな課題が生じています。市は、こうした厚木基地に起因する諸課題の実情を踏まえ、国や米側などに対する大和市基地対策協議会の活動や、県、周辺自治

体と連携した取り組みを通じて、騒音問題の解消や基地周辺対策の拡充、航空機の安全対策の徹底などを求めています。

引き続き、厚木基地に起因する諸問題の解決と市民負担の解消に向けた基地対策の取り組みを進めていきます。

■市役所基地政策課基地政策係 ☎(260)5310 FAX(261)4592

## 防衛大学校を視察

市民・議会・行政の代表者で構成される大和市基地対策協議会(会長・古谷田力市長)は、1月27日、横須賀市にある防衛大学校を視察しました。同校は、幹部自衛官を育成するために防衛省が設置する教育機関です。

視察では、学生生活や教育・訓練の概要説明を受けるとともに、実際に学生が生活する学生舎内や訓練施設などを見学。厚木基地をはじめとした自衛隊施設などで中核を担っている人材が、厳しい規律や統率の下で教育・訓練されるようすに触れました。

同協議会は、こうした視察などを通じて基地に関する知見を深め、航空機騒音や事故への不安、街づくりへの支障など、厚木基地に起因する諸問題にかかる市民負担の解消に向けた取り組みを進めていきます。



防衛大学校の学生舎